

社会分断を克服する装置としての公共図書館：
オスロ市公共図書館の事例分析

筑波大学

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群

情報学学位プログラム

2023年9月

五十嵐 智哉

概要

社会分断を克服する装置としての公共図書館：オスロ市公共図書館の事例分析

社会分断が深刻な社会課題として国際的に指摘されるようになってきている。公共図書館は、その理念や伝統を踏まえれば社会分断の克服に貢献できる機関であり、先行研究においてもその可能性が示されている。社会分断は現代において特に深刻な社会課題として表出してきたものであるために、これまで公共図書館は社会分断の克服に貢献する機関として明示的に位置付けられ論じられてはこなかった。そこで本研究は、多様化する公共図書館の機能を社会分断の克服の視点から体系的かつ実証的に分析することで、公共図書館がどのように社会分断の克服に貢献しうるかを解明することを目的とする。本研究では、ノルウェー・オスロ市の公共図書館 **Deichman** (ダイクマン) を事例として分析する。その理由は、オスロ市は先行研究において民主主義の維持や社会分断の克服に貢献する公共図書館の活動事例が他国に比べ多く蓄積されており、また公共図書館が社会分断の克服に貢献することが法律や各種計画にも反映され、実際にイベントといった新しい活動が活発であるためである。そして、本研究の目的の達成のため、下記の研究課題を設定した。

研究課題 1：社会分断を克服する空間としての公共図書館が、これまでどのように論じられてきたか。

研究課題 2：**Deichman** は社会分断の克服に貢献しうる活動として、どのようなイベントを開催しているか。

研究課題 3：市民は **Deichman** において社会分断の克服に関連し、どのような経験や認識をしているか。

本研究では先行研究に基づいて、公共図書館が克服に貢献しうる社会分断の側面を三つ特定した。それは、「デジタルデバイド」「経済的格差」「属性的分断」である。本研究ではこれらの各側面において、公共図書館が貢献する社会分断の克服はどのようなものであるかを概念と事例の両面から分析する。

研究課題 1 に対応して、第 2 章ではシステマティック文献レビューを行った。図書館情報学分野の代表的な学術文献データベースである LISA (Library and Information Science Abstracts) と LISTA (Library, Information Science and Technology Abstracts) を用いて文献を収集し、最終的に 47 件の文献が分析対象となった。分析対象には、社会分断の克服とは明示されていないが関連する概念が含まれている文献も含まれている。これらの文献を精読することで社会分断の克服に貢献する公共図書館の活動についての概念的な記述と取り上げられた事例を分析し、それを体系的に記述した。その結果、公共図書館は、主に「不平等の解消」と「市民同士の交流の促進」によって、社会分断の克服に貢献しているということが

わかった。不平等の解消としては、デジタル機器やインターネットへのアクセスの保障がある。特にオンライン上の情報へのアクセスに何らかの課題を持つ市民にとっては、図書館はそれへのアクセスができる数少ない機関の一つであるため、情報へのアクセスに対する図書館の重要性が強調されていた。これは、本研究で設定した「デジタルデバイド」の側面に関連するものである。他にも、貧困層の子どもに対する読書機会の平等な提供や、社会から排除された市民が多様な情報を得ることができる場となっていることがあった。このサービスは、経済的な状況を背景としたアクセスできる情報の格差を解消するものであり、本研究で設定した「経済的格差」と関連するものである。そして、「属性的分断」に関連し、公共図書館が出会いの場となることも論じられていた。公共図書館は、民族や年齢、思想など多様な属性を持つ市民が出会い、交流することで相互理解を促進する場となることができる。このように、公共図書館は、他者との交流を通じた多様な文化へのアクセスにより、他者を知らないことによる偏見を減らすことに貢献している。

研究課題2に対応して、第3章では **Deichman** で開催されたイベントを分析した。公共図書館におけるイベントは、複雑化する社会課題に対応するために積極的に開発され、またその開催数も増加し、現代の公共図書館において主要なサービスとなってきている。同時にイベントは、経験によって得られるような知識も含めた多様な種類の知識の獲得機会や市民同士の交流や対話の機会を創出するため、社会分断の克服の観点からも重要なサービスと位置付けられる。この章の研究方法として **Deichman** の **Web** ページに掲載されたイベントの情報を毎日収集し、そのデータ分析を行った。本章で対象となったデータは、2019年9月1日から2022年1月31日まで(ただし、一部の日付は除く)に収集された8,457件である。そのデータを対象とし、イベントの案内に使用された語彙の分析と質的内容分析を行った。**Deichman** において開催された社会分断の克服に関連するイベントとして、まず「デジタルデバイド」の側面では、主としてデジタルリテラシーに関するイベントが開催されていた。

「経済的格差」の側面では、映像の作成を行うワークショップイベントにより映像制作の経験機会を提供するイベントや、作家を招いて小説や詩を書くイベントにより小説の制作の経験を提供するイベントが開催されていた。これは、経済的な状況を背景として生まれうる経験機会の不平等に対応するものである。「属性的分断」の側面では、講演会や議論のイベントを通して多様な意見に触れる機会の提供が行われていた。また、同じイベントに参加する市民同士、すなわち、類似した関心を持つ市民が出会うことで交流を生み出すことも推察される。イベントの参加による出会いや交流を通して、市民は文化へアクセスし、異なる属性の他者についての知識を得ることができる。

研究課題3に対応して、第4章ではオスロ市の住民を対象としたオンライン質問紙調査を行った。調査票の配布および回収は、ノルウェーの代表的な調査会社である **Sentio Research** に依頼し、501件の回答が得られた。特に自由記述の回答からは、市民はイベントへの参加を通して新たな知識を得る機会を獲得したり、図書館がなければ生まれなかったような新たなコミュニティの創出を経験したりすることがわかった。このことからこの章

では、市民の視点から、新たな知識の提供や交流の創出が公共図書館を通してなされていることを明らかにした。また、読書や学習に関連する公共図書館の伝統的な機能は、それを目的に利用されることが多く、重要だと考えられていた。一方で、社会分断の克服に関連すると考えられる創造活動の支援や出会いの場としての機能については、若年層は高齢者層よりも重要な機能として捉える傾向にあり、さらに図書館の利用経験がある市民の方が重要な機能として位置づけていた。

結論として、公共図書館における「デジタルデバイド」の克服は、インターネット機器やデジタル機器の設置が主要な活動として挙げられる。多くの情報がインターネット上で発信されるようになった現代において、公共図書館がインターネットへのアクセスを保障することは、アクセスできる情報の格差をなくすことにつながる。公共図書館における「経済的格差」の克服は、言語の獲得を支援することや求職に関する各段階の支援など、市民が現在抱える困難に対応するサービスを提供することを通して実現される。さらに、3Dプリンターやレーザーカッターなどの高度な機器の提供によって、経済的な状況を背景とした機会の不平等への対応も行われる。このような経験機会を提供するイベントは、子どもや若者を対象としていることも多く、家庭の経済状況による経験機会の格差を解消することを目指していた。このような公共図書館における子どもや若者への経験機会の提供は、将来に発生しうる経済的な格差を減少させ、社会的な階層による分断が持続しないようにするためのものであるといえる。そして「属性的分断」への対応は、公共図書館が市民同士の出会いの場となり、交流を促すことによって実現される。それは、交流を目的としたイベントへの参加や、交流が直接的な目的ではないイベントにおいても副次的に異なる属性の市民との出会いが生じることである。公共図書館は社会的階層に影響を受けない対等な立場での出会いや対話を通して、異なる文化へのアクセスを提供している。それにより市民は異なる属性を持つ他者についての知識を獲得し、無知や無理解といった形で表出する社会分断を減少させることが可能となる。

社会分断の根幹には、人々の知識の不足や偏りが存在している。社会分断は、小さいものでは価値観が異なる他者への無視や無理解として表出し、それが深刻化し市民の対立が発生すれば社会の不安定化や民主主義の機能不全にもつながる。本研究を通して、社会分断の克服に貢献する公共図書館の機能を体系的かつ実証的に分析したことによって、公共図書館は情報と文化へのアクセスによって社会分断の克服に貢献していることが解明された。公共図書館が情報と文化へのアクセスを提供することで、市民はあらゆる知識を獲得することができる。この知識には、コレクションを介して得られる知識と共に、経験によって得られる知識と、交流によって得られる他者についての知識までも含まれる。市民はこれらの知識を獲得し、自身の考えや行動、態度を変化させ、その結果として民族など地域社会における属性の相違による無知や無理解、あるいは対立が減少することで、社会分断の克服となる。公共図書館は地域社会に物理的に存在し、そこで情報と文化へのアクセスを提供することで、地域社会において社会分断を克服する装置となっているのである。

Abstract

The Public Library as an Apparatus for Overcoming Social Divisions: A Case Analysis of the Public Library in Oslo

The research aim was to clarify how public libraries can contribute to overcoming social division by systematically and empirically analysing their diversified functions. We used the Deichman (Public library in Oslo, Norway) as a case study because the city has accumulated more studies on public library services that contribute to maintaining democracy and overcoming social division than any country has. The contribution of public libraries to overcoming social division is reflected in the law and various plans, and new activities and events are actively conducted. The following research questions (RQ) were established:

RQ1: How have public libraries as spaces for overcoming social division been described?

RQ2: What events does the Deichman hold as services that could contribute to overcoming social division?

RQ3: What experiences and perceptions do citizens have regarding overcoming social division in Deichman?

Based on previous research, we identified three aspects of social division that public libraries could contribute to overcoming: digital, economic, and demographic. In this study, we examined how public libraries contribute to overcoming social division, both conceptually and through concrete services.

A systematic literature review was conducted for RQ1. Literature was collected using Library and Information Science Abstracts (LISA) and Library, Information Science and Technology Abstracts (LISTA), the academic databases for library and information science. Finally, 47 articles were targeted and carefully read to analyse conceptual and concrete descriptions of regarding social division and public libraries. The services provided by public libraries that have contributed to overcoming social division were systematically described. The results showed that public libraries contributed to overcoming social division mainly by ‘reducing inequalities’ and ‘promoting interactions between citizens’. Inequality reduction was defined as guaranteed access to digital devices and the Internet. The importance of libraries in providing access to information has been emphasised, especially for citizens who have difficulties accessing online information. Access relates to the aforementioned digital aspect. Other examples include the equal provision of reading opportunities for impoverished children and a wide variety of information for marginalised citizens. The library eliminates the disparity in accessing information based on economic status, which is relevant to the

aforementioned economic aspect. Regarding the demographic aspect, public libraries have been considered by some as meeting places that are open to all. Citizens from diverse backgrounds can meet and interact, and mutual understanding can take place. Access to diverse cultures through interactions with others contributes to reducing prejudice caused by the ignorance of others.

Regarding RQ2, we analysed the events organised by Deichman. Events therein are a major service of modern public libraries and are being actively developed and held in increasing numbers to respond to complex social issues. They are also venues for the acquisition of various types of knowledge, including experience-based knowledge, and interactions and dialogue among citizens. Therefore, they are important in terms of overcoming social division. We collected event information from Deichman's website daily and conducted lexical and qualitative content analyses of event information. The data comprised 8,457 events between 1 September 2019 and 31 January 2022 (with some exclusions). In terms of the digital aspect, events were mainly those involving an introduction to utilising digital devices. For the economic aspect, relevant events offered the opportunity to experience filmmaking through workshops in which videos were produced. In a novel-writing event, authors were invited to teach participants about writing novels and poems. These events were organised in response to inequalities in experiential opportunities arising from economic situations. Regarding the demographic aspect, lectures and discussions were organised to provide exposure to diverse opinions. Creating exchanges between citizens attending the same event is a possibility, meaning that citizens with similar interests can meet and interact. Citizens are exposed to new cultures and gain knowledge about others with different backgrounds through meeting and interacting at such events.

With regard to RQ3, an online questionnaire survey was conducted with Oslo residents. Questionnaires were distributed and collected by Sentio Research, a leading research company in Norway, and 501 responses were received. The open-ended answers indicated that citizens acquired opportunities to gain new knowledge through participation in events and experienced the creation of new communities that would not have been formed without the library. Thus, public libraries provide users with new knowledge and foster new interactions. While the traditional functions of public libraries related to reading and learning are considered important, functions to support creative activities and meetings, which are related to overcoming social division, tended to be regarded as more important by the younger group than by the older group in this study. Furthermore, citizens experienced in using libraries regarded these functions as more significant.

In conclusion, overcoming the digital aspect in public libraries involves the installation of digital equipment and access to the Internet as a major service. Guaranteeing such access by public libraries in today's environment, in which much information is transmitted online, eliminates disparities in accessing information. Addressing the economic aspect is achieved through the provision of services that reduce current difficulties faced by citizens, such as support for language acquisition

and the job search process. In addition, the availability of advanced equipment, such as 3D printers and laser cutters, addresses inequalities of opportunity based on economic status. Events offering experiential opportunities often target children and youth and aim to reduce inequalities in experiential opportunities. The provision of experiential opportunities for children and youth in public libraries is intended to reduce economic disparities that may occur in the future and ensure that division by economic class is not perpetuated. Public libraries bridge the demographic aspect by providing a meeting place and encouraging exchanges among citizens with different characteristics through participation in events aimed at interaction. It can also occur as a secondary effect in events where exchange is not the primary objective. Public libraries provide access to different cultures through meetings and interactions on an equal basis independent of social class. Citizens can thereby acquire knowledge about others from different backgrounds and overcome social division represented as ignorance and incomprehension.

Social divisions fundamentally caused by a lack of knowledge or prejudice. Ignorance or incomprehension of others with different values leads to social division; if sufficiently serious, it can cause conflicts between citizens, leading to social instability and democratic dysfunction. From the systematic and empirical analysis of the relevant functions of public libraries performed for this research, we can clarify that public libraries contribute to overcoming social division by providing access to information and culture. Public libraries enable citizens to acquire experience-based knowledge and knowledge of others acquired through interactions. The acquisition of knowledge changes citizens' thoughts, behaviours, and attitudes, thereby reducing ignorance, incomprehension, or conflict due to demographic differences within the community. Hence, overcoming social division is an outcome. Public libraries are apparatuses for overcoming social division in a community because of their physical presence and the provision of access to information and culture.